補装具費支給意見書(視覚障害者用)作成上の注意点

この意見書は、視覚障害者のための補装具の判定を行う際に必要となりますので、 記入漏れのないようにお願いいたします。記入に当たっては以下の点に御留意ください。

1 身体障害者手帳

身体障害者手帳の等級と障害名を必ず記入してください。

2 原因となった疾病・外傷名

身体障害者手帳を所持していない場合は、障害者総合支援法に基づく特殊の(難病等)であることを確認してください。

障害者総合支援法に基づく特殊の疾病(難病等)に該当する場合は、その名称を 記入し、□にチェックしてください。

3 障害・疾患等の状況

本意見書作成時の状態について記入してください。視野障害や羞明の有無、補装具が必要な状況等を記入してください。

4 補装具の種目・名称

必要と認める補装具に○をつけてください。必要と思われるものの □ の欄にチェックをしてください。

処方の欄に、眼鏡(矯正用)については SHP、CYL、Ax、PD 等を記入してください。眼鏡(遮光用)及び遮光機能のある眼鏡(矯正用)については、遮光レンズの品名、カラータイプ、遮光率%を記入してください。

5 使用効果見込み

使用目的、使用することによる生活改善の見込み等について、具体的に記入して ください。

※手帳が視野障害のみで眼鏡を必要とする方

視力障害の認定がなく、視野障害のみの方には視力矯正用の眼鏡を支給することはできません。視野障害で支給可能な補装具は遮光用となります。

加礼你心乐() — o	ク					
		補装	具費支給	意見書	(視	覚障害者用)	
氏 名						男・女	
生年月日			年	月	日	歳	
住 所							
身体障害者	. 等	級	種	級			
手帳	障	害名					
(□する・□	常生活 しない	·及び社会)	生活を総合的に			施行令で定める特殊の疾病(難病等)に該当	
障害・疾患	等の ²	犬況 	況 (注: 下記補装具を必要と認める理由を具体的に記載。難病患者等については、 身体症状等の変動状況や日内変動等についても記載。)				
【視力】		裸眼			矯正眼鏡		
右	-						
左							
【現症】		右				左	
前眼部							
中間透光体							
眼底							
その他						※進行性疾患:□該当 □非該当	
補装具の種目・名称							
る補装具	使用効果見込み						
上記のとお 年		見する。 月 F	病院又は診療 所 在 診療担当 作成医師	地 科名		印	